

# 小川自治会防犯パトロール隊（東京都）



今日も元気に健康増進を兼ねパトロール

## 全員で犯罪のない明るく住みよい街づくり

### 1. 地域紹介

町田市は、東京都の西部最南端にあり、神奈川県横浜市、川崎市、相模原市、大和市に東・南・西の3方向を囲まれ神奈川県の中に突き出したように位置しています。小川自治会は、さらにその町田市の南地区にあり、小川1～4丁目に小川自治会の他に4自治会があります。近くを東名高速道路、国道16号線、国道246号線などの車の往来が頻繁な幹線道路が走り、町内の道路は、朝夕はバイパスとして交通量が多い地域になっています。東京のベッドタウンとして、40年位前から開発が進んだ緑の多い典型的な郊外型造成住宅地です。

### 2. 団体の概要

小川自治会の創設は41年前、会員数はわずか49世帯で発足しました。現在は会員数1,220世帯、11支部、66班で構成されます。推定加入率が70%で地域内に非会員も含め約1,700世帯、5,000人が住んでいます。2004年に自治会内で侵入窃盗が頻発したことから、住民の要望で半年の検討を経て、2005年4月に防犯パトロール隊を発足させました。自治会本部に安全対策部を設け、実働部隊として1丁目隊、2丁目隊、3・4丁目隊（3丁目は大多数が他の自治会のため4丁目と一体）の3隊で総勢約350人の参加を得てパトロールを開始しました。特に犯罪抑止に多大の効果がありましたが、2009年リーマン不況により犯罪が増加したことや、高齢化による隊員の減少の補完・補強の手段として青パトを採用し、同年11月から22人で活動を開始し、現在は30名で実施しています。

### 3. 活動内容紹介

3つのパトロール隊と青パト隊が下記「4. 活動の頻度」で示すように参加人数とパトロール回数の多さを誇るほか、次の様な防犯対策、安全活動を行っています。

- 防犯活動
- ①防犯のぼり旗の曜日指定一斉掲載・・・約120本 10軒に1本
  - ②デザインを自治会員から公募して作成した独自の防犯ステッカーの全戸配布、張出し
  - ③広報・啓発活動 ・自治会だより、自治会ホームページ、掲示板に防犯情報コーナーを設け毎月防犯情報を掲載。
    - ・町田警察署・市役所などから講師を招き防犯講習会を毎年開催
  - ④歳末特別警戒・・・毎年12月27日、28日青パトで防犯、防災を呼びかけ計8回巡回
- 子ども見守
- ①パトロール隊員による小川小学校の登校見守り・・・毎日
  - ②小川小学校安全対策委員による下校時の青パト同乗、見守り・・・年40～50日
- 環境美化
- ①パトロール中のゴミ拾い
  - ②パトロール隊員が町田市の違反広告物除却員に登録し定期的に除却
  - ③放置車両、放置自転車の定期的クリーンアップ
- 資源回収
- ①自治会、子供会、老人会共同で資源回収を行い、その収入の一部を防犯対策に利用

### 4. 活動の頻度

パトロール開始以来8年間の活動実績（期間＝1月～12月）

（2005年は4月から、2009年11月からは青パトも活動開始）

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	合計
回数	976	1,324	1,201	1,224	1,220	1,249	1,210	1,202	9,516
延人数	6,945	8,247	7,234	6,711	6,188	5,449	5,214	4,954	50,942

月平均：回数＝102、延べ人数＝547

### 5. 活動効果

パトロール活動による犯罪発生抑止効果は顕著に出ています。

当自治会内における侵入窃盗の発生件数（期間＝1～12月、未遂も含む）（町田市配信情報より）

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
発生件数	17	16	8	6	4	11	2	4	3

👉自治会内で侵入窃盗頻発

👉リーマン不況による犯罪発生増加

👉4月パトロール隊活動開始

👉11月青パト隊活動開始

### 6. 今後の課題

- ①自治会員の高齢化、パトロール隊員の減少（発足時より8年で半減）→青パトの拡大  
→防犯カメラなど人に頼らない防犯（費用の問題）
- ②お子様の安全確保（犯罪・いたずら、交通安全）→行政、学校、家庭、地域のより密な連携
- ③防犯に加え、本格的な防災（減災）体制確立→コアの人材が限られている→対策？